

国語科における GIGA 端末を活用した授業展開



日 時：令和3年10月26日（火）13:30～14:40

場 所：学習センター

対 象：9年A組 生徒33名

授業者：山田 玲 教諭

1 戸沢村立戸沢学園の特徴

学級数：16（9+7）学級、児童・生徒数238（150+88）名、教員数31名

平成25年4月に新制の戸沢村立戸沢小学校・戸沢村立戸沢中学校となり、平成29年4月に校舎一体型小中一貫校として開校した後、義務教育学校「戸沢村立戸沢学園」として開校した。

学習用タブレットを1人1台ずつ、電子黒板を普通教室に1台ずつ配備し、電子黒板では、各教科のデジタル教科書も使用できる。初等部ではジャストスマイル、中学校ではeライブラリをドリル学習に活用している。児童・生徒にMicrosoft365のアカウントを1人1アカウント付与し、振り返りの共有や授業での考えの発表などに、Microsoft Teams を活用している。また、授業でGoogle フォームを活用し、リアルタイムで児童・生徒の振り返りを把握している。校務支援ソフトとして学校用グループウェア「ミライム」を導入し、職員への連絡のペーパーレス化や、出退勤時刻の管理など、働き方改革にもつながっている。

2 研究主題 学力の定着・向上 ～情報活用能力の育成を通して～

3 単元名・目標

単元名：「和歌の世界」

- (1) 言葉や歴史的背景などに注目して和歌を読み、和歌に込められた心情や情景を自分なりに解釈することができる。 (知識及び技能)
- (2) 和歌に込められた心情や情景について、複数の情報を吟味した上で、自分が伝えたいことを明確にし、相手意識を持ち、わかりやすく表現することができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 自分の興味関心に応じた和歌について調べ、自分の考えを自分の言葉でまとめようと粘り強く取り組んでいる。 (学びに向かう力、人間性等)

4 単元計画（全8時間 本時5時間目）

- ① 和歌について、基礎的な知識を得る。教師の発表例を見て、学習の見通しを持つ。(1時間)
- ② 調べ学習と、プレゼンづくりを進める(5時間)
 - ⇒ 図書やネット検索を必要に応じて活用させる。
 - プレゼンテーションソフトで資料を作成させる。
 - 共有ファイルで進捗状況を共有し、毎時間振り返りの時間を持つことで、計画を調整させる。
 - 共有ファイルを活用し、互いにアドバイスさせる。
- ③ グループで交流する。自分が選んだ和歌について、作者になりきって和歌を紹介する文章を書く。
 - ⇒ 下書きはワープロソフトを活用し、納得いくまで表現や吟味できるようにする。(2時間)

5 主に活用した機器・コンテンツ

・1人1台タブレット ・Microsoft PowerPoint ・Microsoft Teams

6 本時の指導

(1) 本時の目標

和歌に込められた心情や情景について、複数の情報を吟味した上で、自分が伝えたいことを明確にし、相手意識を持ち、わかりやすく表現することができる。
(思考力、判断力、表現力等)

(2) 指導過程

時間※1	●主な学習活動	○ICT 活用ポイント、留意点	使用機器 コンテンツ	情報活用能力※2
導入 5分 一斉 A 1	(本時まで) 和歌を選び、何度も音読して自分なりの予想を立て、調べたいことをピックアップしている。各自で調べ学習を進めている。 ●共通課題と、各自の本時の目標を確認する。	○調べ学習の進め方や、考えの形成、資料の作り方等において、参考になりそうな生徒のワークシートや発表資料を全体で共有し、ヒントになるようにする。		
和歌に込められた心情や情景を読み取り、和歌の魅力が伝わるプレゼンを作ろう。				
展開 35分 個別 B 2 B 4 協働 C 2	●これまで調べたことを、相手意識を持ってわかりやすく資料にまとめた り、オリジナルの訳に表現したりすることができる。 ・必要に応じて、図書やネット検索を活用し、調べ学習を行う。 ・複数の情報を関連付けながら、オリジナルの訳を作る。	○相手意識を持って資料を改善するようにさせる。 ○出典を明確にさせる。 (予想される生徒の反応) 手元には予想で作った訳があるが、疑問に思ったり気になったことを調べた結果、訳を見直すことになり、また気になることを調べ、表現を吟味し・・・と、表現と調べ学習を行ったり来たりする。	・1人1台タブレット ・Microsoft PowerPoint	B 1③ステップ2 ・表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせて適切に表現する。
				
まとめ 10分 協働 C 2	●グループで、1～2名の発表を行い、アドバイスし合う。 ●本時の振り返りを行い、次時の目標を立てる。	・共有ファイルに気付いたことを記入し、次時に参考出来るようにする。 ○必要に応じて計画の調整をさせる。	・1人1台タブレット ・Microsoft Teams	

※1 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「学びのイノベーション事業報告書 学習場面に応じた ICT 活用事例」に基づく表記を示す。

※2 本欄におけるアルファベットおよび数字で示した記号は、文部科学省「【情報活用能力の体系表例 (IE-School における指導計画を基にステップ別に整理したもの)】(令和元年度版)全体版」に基づく表記を示す。

7 県教育センター所感

- 自分の思いを仲間に分かりやすく伝えることができるように、WEBページの検索等を通して様々な情報を収集して吟味した上で、情報を取捨選択している姿が見られました。また、PowerPoint スライドのデザイン等を工夫することを通して、さらに自分の思いをわかりやすく仲間に伝えようとしていました。
- WEBページを通して収集した様々な情報を取捨選択する観点等を確認していくとよいかと思えます。その際に、大切になるのが、情報モラル・情報セキュリティの観点です。情報に関する個人の権利とその重要性を尊重しようとする等、責任をもって適切に情報を扱おうとする態度を高めていきましょう。